

週刊

沖縄建設新聞

THE OKINAWA KENSETSU SHINBUN

■毎週水曜日発行 ■昭和40年7月7日第三種郵便物認可 ■発行所：(株)沖縄建設新聞 ■http://www.okitel.com

(3) 2022年(令和4年)1月1日(土) 増刊号

週刊 沖 縄

令和4年の新春を迎え、謹んでごあいさつを申し上げます。

旧年中、一般社団法人沖縄しまたて協会の活動に対し、皆様から深いご理解とご支援、ご協力を賜りましたことに心より厚く御礼申し上げます。

2年7月豪雨など水害も激化しています。さらに、沖縄では首里城焼失という不幸な出来事に続き、新型コロナウイルスの感染拡大に苦しめられ、そして軽石被害により、経済社会への深刻な影響が続いています。

つつ、今後のインフラ整備を担う若者の確保・育成をしっかりと進めることが重要です。さらに、ウイルス感染を防止しつつ、労働生産性を向上させて質の高いインフラ整備・管理を行うために、デジタルトランスフォー

り、新たな振興計画の初年度を迎えます。安全・安心な沖縄にすることも、感染症を克服して交流拠点機能を強化し、そして首里城の早期再建を含め美しく個性豊かな文化を有する観光立県としての地域づくりに力を注ぐ必要があります。



(一社) 沖縄しまたて協会

理事長 木下 誠也

安全で魅力ある沖縄の地域づくりに邁進

建設業界の皆様におかれましては、思いを新たにこの新年の幕開けを迎えられたことと思います。振り返ってみますと、東日本大震災以来大きな災害が続きました。

インフラ整備については、近年逆風は終息し、必要な公共事業予算が確保されるようになってきた一方で、建設技術者・

メイションを一層進める必要があります。これらの取り組みを推進することにより、技術立国といわれたわが国の

関係の皆様のご支援、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。

技術者といった建設産業の担い手不足が深刻化しています。生産年齢人口が減少していく状況において、働き方改革を進め

技術力を取り戻し、成長力を高め、魅力ある豊かで活力ある国づくりが実現すると思えます。今年

は復帰50周年の節目となる

今年も引き続き協会役員一同、一層職務に邁進、努力を注ぎまいります。

年頭所感